

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.25 —

— ごあいさつ —

総看護師長 菊池 共子



爽やかな秋風が吹く季節を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より大変お世話になっておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、開院11年目となる当院では「患者中心の医療元年」を掲げ、機能分化と地域連携の推進に取り組んでいるところでございます。6月、7月には北上医師会、花巻市医師会との医療連携に関する懇談会が予定どおり開催できました。中部病院への期待の込められたご意見を頂戴し、今後さらに地域に開かれた病院として多職種による連携推進に取り組んでまいります。

また、工事期間中何かとご不便をおかけした患者・家族支援センター「えぐなるプラザ」が、7月22日に開所いたしました。当センターは、ワンストップサービスを提供することで、利用する方々の利便性向上と満足度が増すことを目的としています。総合的な支援機能として、入退院支援、地域医療福祉連携、患者相談、がん相談の担当者を配置していますので、内容に関わらずご相談いただけます。中部病院を利用する方々には、マスコット・キャラクター「えぐなるズ」の看板が目印の患者・家族支援センターをご紹介いただければ幸いです。

なお、以前お知らせしていました第1回日本緩和医療学会東北支部学術集会第23回東北緩和医療研究会が、当院伊藤院長を大会長として10月19日（土）北上市文化交流センターさくらホールにて開催されます。市民公開講座もございますので、時間のゆるす方はご来場いただければと重ねてご案内いたします。

最後に、岩手県立中部病院は地域の皆様の信頼に支えられ、職員が一丸となってより充実した医療提供に努めてまいります。

開催の
ご案内

第1回日本緩和医療学会東北支部学術大会 第23回東北緩和医療研究会

《大会テーマ》 緩和ケアの原点に還る！

【日時】 2019年10月19日（土） 9：30～16：15

【会場】 北上市文化交流センター「さくらホール」

【主要プログラム】 一般演題、特別講演1、特別講演2（市民公開講座）、
特別企画、ランチョンセミナー、スポンサードセミナー

【参加費】 会員：2,000円、非会員：3,000円



令和元年度第1回 地域医療研究会

2019.9.3 (火)

令和元年9月3日(火)に今年度1回目の地域医療研究会を開催しました。

今回は「認知症を支える」をテーマに一般演題1題、特別講演3題の構成で、眼科医療、患者さんや介護者へのケア・対応について、各地域・医師会での取り組み、終末期の対応など、認知症に関して様々な視点からの講演をいただき、新たな発見や多くの学びがありました。

遅い時間にもかかわらず、118名ものたくさんのご参加をいただきました。ありがとうございました。

次回地域医療研究会においても、有意義な会となるよう企画したいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。



【演題発表】

『認知症進行抑制を考えた眼科医療「見たいのは遠くじゃない』』

鈴木眼科吉小路 鈴木武敏 先生

【特別講演】

「地域で診る認知症～幸せに過ごすために必要なこと～」

ゆかわ脳外科 湯川宏胤 先生

「北上医師会の認知症に対する早期支援システムについて」

いわぶち脳神経クリニック 岩淵崇 先生

「アルツハイマー型認知症の最近の話題ーとくに終末期の対応についてー」

岩手県立中部病院 田村乾一 先生

令和元年度第1回 医科歯科連携研修会

2019.9.26 (木)

令和元年9月26日(木)に、令和元年度第1回医科歯科連携研修会を行いました。

今回の研修では「骨修飾薬と顎骨壊死」について、3名の先生からご講演いただきました。はじめに中部病院薬剤師 高橋慎太郎先生より骨修飾薬の説明があり、和賀歯科医院院長 和賀浩幸先生からはポジションペーパー解説および骨修飾薬に関する最新の話題提供をいただきました。続いて、あや歯科医院院長 高橋綾先生より骨修飾薬を使用している患者さんの事例報告をいただきました。顎骨壊死に罹る方が予想より年々増えているというお話があり、その対策として早めの歯科受診が大切であることを共有しました。

講演後はたくさんの質問や意見をいただき、充実した意見交換の場となりました。医科の先生方の考えもお聞きし、現場の状況に合わせて再確認できたことと思います。

演者の先生方、参加者のみなさま大変ありがとうございました。



えぐなるプラザ 開設しました



療養上の相談や入退院時の準備などの患者及びその家族への支援をワンストップで対応するため、1階総合待合スペースに「えぐなるプラザ」(患者・家族支援センター)を開設しました。

1 目的

- 患者及びその家族へ良質な医療・サービス等を提供することにより、患者満足度の向上を図る
- 患者等の状況、社会的・精神的問題に早期に対応することにより、患者等の不安軽減を図る
- 地域医療施設及び保険・介護施設等との連携の充実に図ることにより、患者等との良好な信頼関係を構築する

2 開設日時

令和元年7月22日(月)

3 開設場所

岩手県立中部病院1階 総合待合スペース

岩手県立中部病院
『えぐなるプラザ』
(患者・家族支援センター)
7月22日 開設

● **患者・家族相談**
医療費の相談
病気の不安・悩み
苦情受付 医療安全

● **入院・退院支援**
入院の説明 退院の支援
検査の説明 お薬の説明

● **がん相談支援**
がん相談 がんサロン
がん備報 緩和ケア相談

● **地域医療連携**
医療機関との連携
介護施設との連携
歯科医院との連携

**患者さん・ご家族のご相談を
何でもお伺いします**



旅のことならびゅうプラザ、療養生活のことなら「えぐなるプラザ」に何でもご相談ください。



お食事処 ちゅうぶ

入院した人だけが味わえる入院中のお楽しみ「給食」
どんなメニューがあるの？



第9号は
「さんまのつみれ汁」
のご紹介

紅葉の便りも届き、寒さが一雨ごとに増していく季節となりました。
本日は、温かいものがほしくなるこの季節にピッタリ、当院のある日の選べる
メニュー「さんまのつみれ汁」をご紹介します。



材料(1人分)	(g)		(g)	
さんまのすり身	50	} つみれ	ねぎ	20
かたくり粉	2		酒	5
根しょうが	2		しょうゆ	5
豆腐	50		みりん	2
だいこん	60		だし汁	150
にんじん	10			
まいたけ	10			



一食あたり、野菜の目安量は約 120g です。
きのこ、こんにゃくなどを加えて汁の具を増やすか、小鉢を加える
ことがポイントです。

【がん相談支援センターのご案内】

がん相談支援センターは、がん患者さんがご家族の方からのご相談のみならず、地域の医療機関の皆様や、医療福祉関係機関の皆様からのご相談、お問い合わせにも対応させていただいております。どうぞ、お気軽にご相談ください。

【がん相談支援センター】

TEL : 0197-71-1511

<相談時間>

9時～17時(土日祝はお休み)

<担当スタッフ>

医師、看護師、MSW



岩手県立中部病院 理念と基本方針

病院理念

心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。

基本方針

1. 安全で質の高い医療を提供する。
2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。
3. 人間性豊かな医療人を育成する。
4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。
5. 健全な病院経営に努める。



地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただいております。
患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、
長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り
直して後日来院いただくこともあります。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に
予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院
地域医療福祉連携室
〒024-8507
岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 (代表)
0197-71-1518 (連携室直通)
FAX 0197-71-1881 (連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>

2019年10月

